



発信年月日：令和3年5月25日

所属部課	課長	担当職氏名	連絡先	TEL 0837-23-1196
経済観光部 観光政策課	宮本 啓治	文化・国際交流班長 市川 裕之		FAX 0837-22-6487
件名	香月婦美子様のご逝去に伴う市長談話について			

本市が運営しております香月泰男美術館の名誉館長として、同館の設立・運営に多大なるご貢献をいただいた、香月婦美子(かづき ふみこ)様が、5月22日(土)に心不全のためご逝去されました(享年103歳)ので、長門市長談話を発表いたします。

○市長談話

訃報に接し、大変沈痛な想いであります。心から哀悼の意を表するとともに、ご遺族の皆様にご丁寧にお悔みを申し上げます。香月婦美子様は、戦後日本美術史に偉大な足跡を残した画家・香月泰男夫人として、家族想いの香月の愛情を子どもたちと共に一身に受け、従軍・シベリア抑留中も夫を想い、その後の画業を支え続けられました。画家亡き後はその全容を伝えるために『夫の右手 画家・香月泰男に寄り添って』を上梓されるなど、尽くされました。夫人は常々“主人の作品が保たれて、見ていただけることは、なによりもわたしの喜び”と仰り、山口県立美術館に《シベリヤ・シリーズ》を、また、画家の故郷三隅に建つ香月泰男美術館に約3,000点もの作品や資料を寄贈され、山口県や長門市の文化発展に寄与されました。これまでのご功績に心から感謝申し上げますとともに、長門市は引き続き故人の遺志を継ぐことを使命とし、画家香月泰男を顕彰し、後世に伝えてまいります。

令和3年5月25日

長門市長 江原 達也

○ご次男・香月理樹様(喪主)からのコメント

5月22日(土)母 香月婦美子が死去いたしました。103歳まで生きて、皆様にご大変良くしていただき、誠にありがとうございました。なお24日(月)に葬儀を執り行ったところですが、故人の遺志により、親族のみの家族葬とさせていただきますので、ご香典・弔電・ご供花などのお気遣いは、今後とも固く辞退させていただきます。何卒ご容赦くださいますよう、お願い申し上げます。